

次期の見通し

■企業のIT投資は底堅く推移すると予想

今後、米国の外交・通商政策等の影響による地政学的リスクの高まりや、世界経済の下振れリスクが懸念されます。国内においても、米国の関税引上げによる輸出への影響、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響、金融資本市場の変動等に注意が必要なものの、雇用・所得環境の改善や設備投資の増加などにより、景気の緩やかな回復が期待されます。

このような経済状況のもとで各企業においては、原材料価格の高騰、賃金上昇、深刻な人手不足対策としての省人化投資や業務効率化、コスト削減など、生産性向上や競争力強化を目的としたデジタル化の推進やAIの導入・活用が求められています。IT市場においては、企業の関心は業務効率化に留まらず、経営判断や競争力強化に直結する情報システムの見直しや更新に広がっています。また、AIの活用やセキュリティ対策評価制度への対応のほか、一部企業においてWindows 10サポート終了に伴うパソコンの更新需要も継続しており、IT投資は底堅く推移するものと予想されます。

■AIとセキュリティでお客様と共に成長

以上のような国内の経済状況やIT投資動向に対する見通しを前提として当社グループでは、2026年度のスローガンである「お客様に寄り添い、AIとセキュリティでお客様と共に成長する」の方針のもと、オフィスまるごとへの取り組みを更に進め、お客様の状況に応じた業務の革新に繋がるDX推進への取り組みを支援します。具体的には、中堅・中小企業のお客様にとって手頃な価格から導入可能なAIソリューションやセキュリティ対策の提案、生産性向上やコスト削減を実現する付加価値の高いソリューション提案を行い、顧客満足度の向上に努めてまいります。そのために、営業やサポートの活動を支援する各センター機能やお客様マイページ[※]など多様なチャネルを組み合わせ、お客様接点の強化を図るとともに、AI等の技術を活用した営業プロセス支援により営業活動の更なる効率化を進めていきます。そして当社とお取引いただいたお客様と、長期にわたり継続的に取引いただけるよう努めてまいります。また、ESG課題の解決とSDGsの達成への貢献に向け、ITを活用したサービスやソリューション提供を行ってまいります。加えて、従業員エンゲージメント向上へ繋がる取り組みについても引き続き進めていきます。

※お客様マイページ=多くのお客様に便利なサービスをご提供することでお客様に寄り添い、Webでお客様との関係創りを進めるお客様ポータルサイト。

■セグメント別の施策

システムインテグレーション事業では、生産性向上、競争力強化やコスト削減のニーズを見極めながらお客様のデジタル化を進めるため、お客様に寄り添い、引き続き当社グループの強みである幅広い取扱い商材を活かした付加価値の高いソリューション提案を行います。

サービス&サポート事業では、「たのめーる」の競争力の強化に努め市場の拡大を図り、「たよれーる」の利便性を高めてお客様が安心して安全に事業活動を継続するためのサービスの開発に努め、着実に売上高の増加に繋がってまいります。

■次期の業績見通し

次期の連結業績予想は以下のとおりです。

売上高1兆3,110億円(前年同期比0.9%減)、営業利益900億円(前年同期比0.1%増)、経常利益901億円(前年同期比1.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益611億300百万円(前年同期比4.9%減)。

セグメント別の売上高では、システムインテグレーション事業8,571億円(前年同期比5.1%減)、サービス&サポート事業4,539億円(前年同期比8.1%増)。

〈連結〉売上高・利益計画

(単位:百万円)

	2025年 12月期	2026年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
売上高	1,322,791	1,311,000	-0.9%
営業利益	89,943	90,000	+0.1%
経常利益	91,525	90,100	-1.6%
純利益*	64,303	61,130	-4.9%

※親会社株主に帰属する当期純利益

〈連結〉セグメント別売上高計画

(単位:百万円)

	2025年 12月期	2026年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
システムインテグレーション事業	902,915	857,100	-5.1%
サービス&サポート事業	419,875	453,900	+8.1%